# 釧路南ロータリークラブ会報

# 第 26 回 例 会 報 告 2014.1.17 通算 1521 回

・点鐘

佐藤玄史会長

· 🛮 - タリーソング

「我等の生業」



ソングリーダー 工藤 ゆかり会員

・誕 生 祝

高橋 康成会員 S19.1.22 (70歳)



### ●ポールハリスフェロー表彰状授与



佐藤 玄史会長



長江 勉会員



木内 治彦会員

## •会 長 挨 拶



こんにちは、松飾りもはずれ正月気分もようやく元に戻りつつあります。今日の「年男大いに語る」は、 午年生まれの亀岡会員の年男の意気込みを会員みんなの物にして一年間頑張っていきたいと思います。 今月は、「ロータリー理解推進月間」になっております。 今月のプログラムも月間にあわせた例会プログラムになっております。"ロータリーの綱領"を改めて確認させていただきます。

第一 奉仕の機会として知り合いを広めること。

第二 事業及び専門職務の道徳的水準を高めること。 あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという 認識を深めること。そしてロータリアン各自が、業 務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位 あらしめること。

第三 ロータリアンすべてが、その個人生活、事業 生活及び社会生活に常に奉仕の理想を適用する。

第四 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と 平和を推進すること。

以上、綱領を読み上げましたので今後の指針としていきたい。

たところ、12月20日時点で1,500ドルの寄付明細が届いています。尚、確定申告用、寄付領収書は1月末に送付しますとのことです。また、先ほど表彰されましたポールハリスフェロー回数バッチのパッキングリストが来ております。

\*2014年1月のロータリーレートは、1ドル102円です。是非米山財団寄付も含め年度末まで、1,000ドルを目標にお願いします。未来の夢計画も含め、以前は3年後の地区補助金としての返還率が20%から50%と変わっています。

# ・委員会報告 親睦委員会

・本日のニコニコ献金高橋 康成会員 誕生祝として

## •幹 事 報 告



- \* 釧路東・釧路西・釧路北・釧路ベイ・根室・弟子 屈の各RC、及び釧路北RACより1月例会プログ ラムを拝受、根室・弟子屈・厚岸各RC及び釧路 北RACよりクラブ会報を拝受しました。
- \* ロータリーの友4月号と6月号に掲載するクラブの親睦活動やユニークな同好会活動などの様子を提供くださいと要請が第2500地区ガバナー事務所より来ております。
- \* 昨年11月29日、例会プログラム「ロータリー財団に因んで」長江ロータリー財団米山委員長担当の中、会員1名100ドルを目標に財団寄付を募っ

#### 本日のプログラム

「 会員卓話(年男大いに語る) 」

担当 出席プログラム委員会

#### ◆亀岡 孝会員



綜合設備㈱代表取締役社長。昭和 29 年中標津町生まれで今年 60 歳。昭和 55 年国土建設学院設備工学科卒業。趣味は登山、トレッキング、旅行などアウトドア派です。好きな言葉は現場主義、有言実行です。

綜合設備㈱は、1964 年設立、資本金 3、700 万円、 従業員 18 名。

事業内容は、冷暖房設備、空調設備、給排水設備、 一般土木の設計施工、システムメンテナンス事業、 建築修繕事業。特に上下水道は、人間で言う血管の ようなもので、そんな上下水道を始め、給排水設備 や冷暖房設備を取り扱う会社です。私たちの生活に 大きな役割を果たすとともに、設備工事を数多く手 がけてきた。近年の公共工事の削減でこの業界の経 営環境も厳しいが、メンテナンス工事を充実させる など、同業他社との差別化を図ることにより、地域 に欠かせない設備企業として今日もあゆみ続けてい る。2010年に長江文男社長から社長の座を譲り受け 現在に至っている。釧路管内の公共施設の工事を数 多く手がけて業界でも上位に位置する技術を有する。 顧客に提供する技術とサービスの向上を大きな目標 に掲げており、2002 年以来品質マネジメント規格 ISO9001 の認証を継続して取得。2010 年は同じく 環境マネジメントである HES2010 の認証も取得し たほか、さらに労災害事故ゼロを目指して、社員へ の教育も徹底している。

私は、昭和 61 年に綜合設備㈱に入社した。元々は 大手家電メーカの信販部門に勤めていたが、設備会 社を経営していた父親の勧めもあって転職し、設備 工事の面白さに目覚めたことから、さらに東京の専 門学校で学び直して、設備業界に飛び込んだ。最初 は学費を稼ごうと水道配管の仕事も経験しましたが、 やはり何もない空間に一から作り上げていく設備工 事が楽しい。その後、いくつかの会社で経験を積ん だ末に、綜合設備㈱に現場管理者として迎えられた。 設備業界は、公共事業削減の影響が大きい上、少子 高齢化と人口減で住宅産業も厳しく、受注競争と価 格競争は激しさを増している。しかし施工後のメン テナンスが欠かせない設備業においては誠実な対応 による信頼の獲得が、大きな受注につながるという 信念の下、社員一丸となって業務開拓に打ち込んで いる。

経営方針は、技術を磨いて品質管理を徹底し、同業他社との差別化、区別化を図るためにも、新規メンテナンス工事や建築リフォーム工事などの促進をしている。中でも徹底した節電や断熱を行うことにより、電気代や煖房料金がかからない「ランニングコストゼロ」の住宅設備を実現させることだ。先の東日本大震災では、当社から3人の技術者が被災地に向かい、寸断されたライフラインの復旧に当たったが、今後も自分たちの仕事の大切さを社員全員が自覚できるよう社員教育を徹底したい。目指しているのは、社員とともに会社が成長していく「共育」という理念です。



#### \*\*\*\*\*\*\*

## ・次回のプログラム

1月24日(金)

「ロータリー情報推進月間に因んで」

会場 釧路東急イン 12:30~

担当:ロータリー情報メディア委員会

•点 鐘 佐藤玄史会長

今週の会報担当:福井克美会員